

第9回大阪市人口移動要因調査報告書

令和7年3月

大阪市計画調整局

は じ め に

本報告書は、令和6年9月から10月にかけて実施した「第9回大阪市人口移動要因調査」で得られた回答を集計し、質問項目ごとに転入及び転出についての結果を取りまとめたものです。

本市の人口（国勢調査結果）は、昭和40年に戦後で最も多い約316万人となった後、減少傾向が続き、平成12年には260万人を割りました。しかし、その後は増加に転じ、令和2年には約275万人にまで回復しています。

近年の人口増加の要因は、転入者数が転出者数を上回ること、すなわち、転入超過であり、転入者及び転出者（以下、まとめて「移動者」という。）の動向が、本市の人口動向に影響を与えています。

移動者の動向のうち、移動理由（移動のきっかけ）や移動先の選定要因等の定性的な事項を把握することは、人口移動における傾向及び特徴を捉え、移動者の動向への理解を深めるためには重要なことです。

こうしたことから、住民基本台帳や基幹統計等の既存の統計資料からでは把握することができない移動者の定性的事項について調査を行い、本市における満18歳以上の日本人の人口移動の傾向及び特徴を捉え、その調査結果を庁内外において活用できる資料として公表することを目的として調査を実施しました。

今回の調査は、令和元年度に続いて9回目となります。本報告書は、これまでの調査を基に質問項目を整理し、調査結果の活用に向け、移動者の定性的事項をより詳細に把握し、様々な角度から分析できるように、第1章では今回の調査について記述し、第2章では本市の人口移動の実態について、令和5年度の住民基本台帳データを基に性別、年齢、移動前後の居住地等の項目を組み合わせる言及し、第3章では第2章で言及した内容を踏まえて調査結果を集計し、転入及び転出の具体的な要因等について記述しています。

本調査は標本調査であるため、本報告書の内容はあくまでも調査対象者の回答によるものですが、本報告書が本市の人口移動に関する参考資料として、より多くの方々に知っていただくと幸いです。

最後に、今回の調査にご協力いただきました方々に心から感謝の意を表します。

令和7年3月

大阪市計画調整局企画振興部統計調査担当

目 次

第1章 第9回大阪市人口移動要因調査について	1
1 調査の目的	2
2 調査の方法	2
3 調査票の回収状況	3
4 利用上の注意	4
第2章 令和5年度における人口移動の状況	6
1 日本人と外国人の状況	7
2 日本人の状況	11
第3章 第9回大阪市人口移動要因調査の結果の概要	22
1 市内転入の状況	23
2 市外転出の状況	43